



岡山市区づくり推進事業助成申込書  
(地域活動部門)

平成 30 年 1 月 19 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ  
団体名 高野尻村をつくる会  
所在地  
連絡先  
フリガナ ソンチョウ ウカイエイコ  
代表者 職 氏名 村長 鶴飼栄子

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ㊦ 地域課題解決    イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり    オ その他
事業名称	高野尻村をつくろうプロジェクト
事業実施区域(小学校区)	岡山市立牧石小学校区 高野尻町内
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 3 回目 ( 28 年度から)
課題	岡山市街地から北へ車で30分弱(岡山駅から約12km)金山中腹の中山間地にありながら公共交通機関もなく過疎で高齢化、限界集落化が進む地域です。以前は花や野菜などの生産を行っていた段々畑や農地も今では耕作放棄地が目立ちます。 かつては牧石小学校へ通うための道もありましたが、人口の減少により使われなくなり荒れ果てています。高野尻集落も高齢化と共に空き家も増え寂しくなりました。 この集落に少しでも多くの人たちが訪れ、定住などの人口増加につながらなくても、高野尻にかかわる人々が増えることで地域の活性化を図りたい。 高野尻は現代の社会で失われつつある、結い(ゆい)の考えに基づく、行事や慣習が今も残っている集落です。集落内には八幡宮やお大師様をはじめ多くの石仏が祀られています。 昔からの慣わしを後世に伝え守っていく事も大事です。

<p>事業の目的</p>	<p>コミュニケーションが失われつつある今だからこそ、この集落に残る「結い」(相互扶助組織)の考えを後世に伝える事も必要だと考えます。      そしてこのような活動により他の地域とのネットワークを形成し中山間地区の「新しい地域づくり」を目指します。このプロジェクトでは高野尻テラスを核に「子どもの声が聞こえる地域づくり、住民が元気になる出会い、ふれあい作り」を目指し内容の充実を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 毎月定期的に村主催の行事をする事により住民の活動の場作り。</li> <li>② 昔からの習慣や季節ごとの行事をする事による伝承。</li> <li>③ 高野尻の豊かな自然環境を生かした子どもや親子参加型の体験学習と田舎暮らしの体験。</li> <li>④ 村内で催事をする事で地域外の人との異世代交流を計り住民の暮らしの楽しみや健康維持につなげます。</li> <li>⑤ 集落内で採れた農作物の販売や集落内の耕作放棄地を整備した貸農園などで小さな経済を生み出します。</li> </ol>
<p>事業の内容</p>	<p>高野尻村から発信する季節感満載の定期的な体験活動、豊富な自然と地形を生かし、訪れる人の心と五感に感動を与えるような企画事業の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①高野尻の四季折々の豊かな自然を生かした自然体験活動事業</li> <li>②耕作放棄地や里山を活用した手作りの子どもの遊び場づくり事業</li> <li>③遊休地を使って花や野菜の栽培や収穫をする農業体験事業</li> <li>④地域に伝わる風習や季節ごとの催事伝承事業</li> <li>⑤高野尻の四季を感じながらの田舎暮らし体験事業</li> <li>⑥高野尻で何ができるか参加者持込企画による体験事業</li> <li>⑦高野尻村の魅力やイベント情報を発信するための広報事業</li> </ol> <p>以上の活動を高野尻テラス及び集落内を活用し事業を展開していく      リピーターを増やすために体験活動をシリーズ化する</p>
<p>期待される成果・目標</p>	<p>村内で行事を開催することで多くの人たちが訪れ、住民の活動や交流の場が暮らしに刺激を与え楽しみが広がり、集落内の活性化につながります。又、人が訪れることで小さな経済が回ります。子どもの声が聞こえることにより地域の人たちが元気になります。</p> <p>高野尻から情報を発信することで同じような問題(高齢化・過疎化の進む限界集落)を抱える地域に対して、地域づくりや暮らしの在り方のモデルケースとして提案出来ます。</p> <p>年をとっても自分たちに出来ることを前向きに、無理をせず活動に参加して共に楽しむことで健康寿命を延ばせたらと思います。</p>
<p>企画などの工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 企画事業の運営を住民みんなで行い利用者との交流を計る</li> <li>2 集落で発生した間伐材の有効利用を考えた遊具・遊び場づくりやクラフト</li> <li>3 集落内の耕作放棄地や周辺の里山を使った外遊び体験の場</li> <li>4 住民の経験と知識に基づく伝統行事や農作物の調理方の伝承などによる交流</li> <li>5 集落内で収穫した野菜や果実を使った企画事業や余剰生産物販売</li> <li>6 利用者からの提案(参加者の声を聴く)による企画事業の実施</li> <li>7 Facebook 等の SNS 媒体等の積極的利用</li> <li>8 学区内の観光、文化施設でのリーフレットの配布</li> </ol>

協働する団体等	<p>子どもの外遊びを推奨する団体          自然体験リーダーズクラブ          子ども達に遊びを通して自然の素晴らしさや大切さを伝える団体          NPO法人岡山市こどもセンター          招き猫美術館</p>
事業の情報公開	<p>平成 28 年度助成金で作成したリーフレットによる広報活動          テレビ・ラジオ・新聞等への情報発信と取材依頼          Web サイト・Facebook などを使った情報発信</p>
学区地区への広がり	<p>牧石小学校区内公共施設へのリーフレット配布や活動行事の発信          (岡山市北公民館・牧石郵便局・牧石コミュニティーハウス 招き猫美術館等)          学区内にある親子クラブや保育園・幼稚園・小学校への発信          牧石連合町内会のホームページへ毎月のイベント情報のチラシの掲載          2 か月に 1 回の牧石町内会会長会で各町内会会長に次の月のイベント情報を配布</p>
前年度からの見直し拡充点	<p>28 年度事業で作成したリーフレットを 29 年度初めに市内の公民館に向けて配布          学区内にある観光文化施設等と連携した事業の確立          高野尻テラスを利用した勉強会セミナー利用者への誘致 (昨年に利用者への誘致)          高野尻村の自然や人材を使った子ども向けの体験活動プログラムの拡充          高野尻村利用者のリピーター確保 (チラシを作り参加者への e-mail 発信、手紙の発送、各公民館に配置)</p>
次年度以降の予定	<p>①次年度以後の活動計画          高野尻村の自然環境や住民の人材を活用したプログラムの確立          前年度利用者に対しての広報活動(リピーターへの情報発信)          高野尻村を知らない人々への誘致</p> <p>②資金の確保について  <input checked="" type="checkbox"/>次年度も区づくり推進事業を申請する予定  <input type="checkbox"/> ( 5 ) 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。          資金確保の具体的な方策：          主催事業以外の高野尻テラス利用者を増やし収益の増収を計る          (セミナーや勉強会等の会場として高野尻テラスの貸出)          集落住民の野菜づくりや伝統的調理等の指導教室の開催などにより利用者の増加を計る</p>

その他PRしたい点

高野尻村には近年失われつつある結い(ゆい)の風習が今も残る地域です。集落内の草刈りや掃除活動、節目節目の神事などには、集落内に住む高齢者や近郊に住む親族が駆けつけ共同で作業を行います。

地域の人たちによって大切に守られている高野尻の自然環境を楽しめます。地域の人たちは神様を大切にし、集落入口の祠には四季折々の花が飾られています。道端には石仏なども点在します。集落内の道は狭く車の通行ができませんが、逆に集落内をゆっくり散策するには最適です。

この自然豊かな高野尻村を核に心身共に豊かな時間が過ごせる子どもや親子向けの体験活動の場にしたいと考えます。

特別なことでなく自分たちに出来る活動を行い参加者と共に楽しみ元気をもらい健康寿命を延ばせたらと思います。

事業スケジュール

月日	活動内容
4月	山桜の花見&竹の子掘りとわらび狩り 村民会議(29年度事業の反省と30年度事業計画)と村民交流会
5月	端午の節句(かしわ餅づくりと鯉のぼりクラフト) 農業体験(さつま芋の植付けと花の植付け)
6月	ホタル祭りとキャンドルナイト(竹ランタンづくり) 昔ながらの調理方(紫蘇ジュースづくり)と集落内散策(ウォークラリー)
7月	農業体験(夏野菜の収穫)と忍者になって遊ぼう 花火大会と縁日ごっこ
8月	農業体験(蕎麦の種まき)と蚊帳に泊まろう 竹の器づくりとソーメン流し キャンドル作りと夕涼み
9月	村民会議(30年度上半期の振返り)と村民交流会 蕎麦の花見と小枝を使ったクラフト 農業体験(さつま芋の収穫)と火で遊ぼう
10月	農業体験(干し柿づくり)と案山子づくり 拾って作る木の実クラフト
11月	農業体験(キウイフルーツ収穫)と落ち葉で遊ぼう(フィールドビンゴ) 昔ながらの調理方(季節の野菜で漬物作り) 収穫体験(蕎麦の収穫)
12月	クリスマス飾りづくり(お飾りづくり)と農業体験(冬野菜の収穫) お餅つき
1月	七草摘み(七草がゆ)と障子紙アート 火で遊ぼう(とんど焼きとたき火クッキング)
2月	節分祭(豆まきと鬼のお面づくり) 森で遊ぼう(忍者になって遊ぼう)
3月	ひな祭りとお雛様づくり 高野尻村遊び場づくり 村民会議(30年度決算報告と反省会)

毎月初めには主催事業に向けた企画会議と準備作業の日を設定。

外部講師委託事業

- 高野尻村で収穫した蕎麦(粉)を使った蕎麦打ち体験
- 親子でのパンづくり体験

# 収支予算書

## ◆収入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	194.112	500.000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	93.055	130.000	高野尻村をつくる会より
参加者負担金	101.057	170.000	村行事の参加料
協賛金			
寄付、他収入			
計	388.224	800.000	

## ◆支出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	83.000	170.000	インクカートリッジ・肥料 掃除道具・紙コップ等
食糧費	0	10.000	お茶代
印刷製本費	12.000	20.000	広報の為のチラシ
通信運搬費	16.826	33.000	切手代・封筒代
手数料	0	0	
使用料	90.000	180.000	テラス使用料(15,000円×12ヶ月)
原材料費	91.820	215.700	遊び場づくりの材料費 事業に使う材料費
委託費	10.000	30.000	高野尻村ホームページ作成
旅費交通費	0	0	
燃料費	6.300	6.300	灯油代
報償費	25.000	25.000	講師料(8,000円×2名) 9,000円×1名)
光熱水費	53.278	110.000	電気、ガス、水道代
計	388.224	800.000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない
-----------	--	--------------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

自己資金不足の為
----------

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。